

オホーツク会社訪問

創業1912年(大正元年)、100年を超える北見の老舗金物店。住宅建設や土木工事に関わる資材を中心にさまざまな建築金物を扱う。ホームセンターなど大手との競争は激しいが、充実した品ぞろえや建設、工事現場への商品配達など小回りのきく地域密着サービスを展開する。



山下英利代表

滋賀県出身の創業者、山下関蔵さんは、県内でのこぎりを扱う商社に勤め、支店開設を機に道内に転勤してきた。その後、北見近郊で行われていた

山下金物店 (北見)

国鉄(現JR北海道)石北線の建設に商機を見だし独立、山下金物店を創業した。戦後は家庭向けに鍋や

ニールテープなど現場で使う小物まで品ぞろえを充実させ、2014年3月期の売上高は3億円。時代に順応した柔軟な経営で事業を拡大してきた。

4代目の英利代表(46)は「配達が早いから、在庫があるから、という理由で選んでくれるお客さんが多い」と胸を張る。今年5月にはホームペー

小回りのきくサービス

釜の家庭向け商品を中心に扱い、高度経済成長期の建設ラッシュ時には現場で使う足場など仮設資材の販売に力を入れた。くぎやボルトなどの建築金物から、カッターやビ

提供」を経営理念とし、1人の顧客しか仕入れない商品でも在庫を切らすことはない。有料の商品配達も好評で、網走や津別町からも注文が舞い込むという。

く、一般家庭でも使ってもらえるような品ぞろえが課題。商品情報の提供やサービスのきめ細かさで、大型店に対抗していきたい」と力を込める。

(伊藤友佳子)

△メモ▽〒090・0020
北見市大通東4 ☎0157・23
・7731▽資本金2千万円▽従業員(パート含む)10人▽ホームページあり



約5千点という豊富な在庫をそろえる倉庫